

一、行動経済学に対する立場より「大正十三年二月

版

二、この本の物の三十分、歳頃の論文と集めると小

著に過ぎます。又、この本に述べられておる思想の

公認は、今をほり行き、詰つては折らなると信じて

ます。現在、物なしては、仕事も、その公認の研

究です。ですから、^{例へば}物、足袋に集する研究の真

の目的が、なだにちるかは、この書と續んで、その

方によつて、思ふとよく理解されようと思つて居ます。